

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	112	学校名	仙台市立館小学校	校長名	遠藤 浩志
------	-----	-----	----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ 「自然や環境と向き合う機会」



2 取組の紹介

(1) 自然との触れ合いを通して学ぶ

○緑化活動

今年度も環境委員会を中心に昇降口の花壇に花を植え、その後は自分たちで水やりを行い、育てていく活動を行いました。夏にはマリーゴールドやサルビア、秋にはクロッカスやチューリップなど、その時期に適した花を植えました。多くの児童が登下校の際などに花壇を見ることで、季節の変化を感じていたようです。

また、今年度も3年生によるボーダーガーデンに花を植える活動を行いました。自分たちで花を植えたことで、活動をした多くの児童が花壇やそこに植えられている花を大切にしようという気持ちになりました。



○グリーンパークの活用

学校の西側には、畑や水田、ビオトープなどがある「グリーンパーク」があります。生活科や理科の授業で生き物を観察したり、総合的な学習の時間などの活動で作物を育てたりすることに活用しています。

5年生は、総合的な学習の時間に水田で「ひとめぼれ」を栽培しました。田植えから稲刈りまでの作業を通して、社会科で学習した米作りの苦労や収穫の喜びを実際に体験することができました。また、地域の農家の方をゲストティーチャーとしてお招きし、田植えの際には作業をする際のコツを教えてくださいました。また田んぼの管理や、稲干しの作業など、様々な場面でお力添えをいただいたことは、児童にとって大変貴重な機会になりました。



(2) 実際の体験を通して学ぶ

○サツマイモの収穫

今年度は、1年生・5年生が春に畑にサツマイモを植え、秋に自分たちが育てた芋を収穫しました。自分たちで野菜を一から育てた経験は、達成感を感じるとともに、そうした野菜を育てるために自然環境を守ることの大切さを実感する機会になりました。

3 取組の成果

グリーンパークなどの豊かな自然のある地域性を生かした取組を継続して行うことで、子供たちの自然を大切にしている心情や、環境問題への関心を育てていくことができます。来年度も、子供たちが身近な自然や環境について考えることができる取組を継続していきます。